

平成29年度  
国産花きイノベーション推進事業  
実績報告書

(需要期における国産花きの安定供給の実証)

長崎県国産花き振興地域協議会

## ◎ 需要期における小ギクの安定供給の実証

### ①取組内容

小ギクの需要期(8月お盆期)における安定供給による市場シェア拡大を目的に、露地耐候性LED器具を活用した夏秋期小菊電照栽培技術について実証を行った。



現地検討会の様子

### ②期間

平成29年4月～8月

### ③体制

県北園主(生産者)、JAながさき西海、花き卸売市場、佐世保市および県(技術普及班、県北振興局、農林技術開発センター)

### ④取組による成果

平成29年度産の天候は、5月から6月の降雨が少なく乾燥状態であったため、無電照栽培の小菊は早期発蕾により出荷時期が大幅に前進化する状況であったが、供試品目10品種のうち、5品種は露地耐候性LEDを使用した電照栽培(長日処理)により発芽分化抑制が見られた。

	品種名	花色	自然開花期	6/19時点の発蕾有無	消灯日	収穫開始日	収穫率 7/27～8/13
1	しゅううきぐも	白小菊	7月下旬	無	6月24日	7月28日	100%
2	白やっこ	白小菊	6月上旬	有	-	7月4日	-
3	弓戸1	白小菊	6月上旬	有	-	7月4日	-
4	秀もくば	黄小菊	6月下旬	有	-	7月9日	-
5	長崎5号	黄小菊	7月下旬	無	6月24日	8月13日	14.3%
6	弓戸2	黄小菊	6月上旬	有	-	7月4日	-
7	秀ありな	赤小菊	7月下旬	無	6月24日	8月9日	51.8%
8	ひとみ	赤小菊	6月中旬	無	6月24日	7月28日	100%
9	紅やっこ	赤小菊	6月上旬	有	-	7月9日	-
10	弓戸3	赤小菊	6月上旬	無	6月24日	7月30日	61.3%

⑤考察

発芽分化抑制効果がみられた5品種において、8月お盆期に向けた市場出荷期間(7/27~8/13)における出荷率を見てみると、しゅううきぐも(白)とひとみ(赤)が100%、弓戸3(赤)が61.3%、秀ありな(赤)が51.8%、長崎5号(黄)が14.3%であった。

以上のことから、29年度産において消灯日6月24日でしゅううきぐも(白)とひとみ(赤)は8月お盆期出荷に合うが、他の3品種については消灯日を6月24日より早く実施する必要があることが分かった。

また、これらの5品種もフラワーフォーメーションが従来の姿と異なるなど乾燥条件下による早期発蕾の影響を受けていたほか、切り花品質において課題が見られた品種もあったことから、再検証など今後とも現地適応試験を継続して実施していく必要がある。

今回の取り組みをきっかけに、当産地において、生産者や県、市、JA、卸売市場、種苗メーカーによる産地育成にむけた実施体制が形成されたことは、今後の産地の発展に大きくつながるものとなった。

	品種名	花色	採花 開始日	切花長	80cm 調整重	今後の方向性(案)
1	しゅううきぐも	白小菊	7月28日	120.0cm	39.4g	新たな品種として導入を検証 重量が軽い
2	白やっこ	白小菊	7月4日	99.8cm	55.1g	白小菊の主力品種 電照抑制効果を再検証
3	弓戸1	白小菊	7月4日	99.2cm	37.6g	重量が軽い、FF良い
4	秀もくば	黄小菊	7月9日	101.3cm	44.4g	頂花喪失が多い
5	長崎5号	黄小菊	8月13日	128.5cm	55.5g	消灯時期を再検証
6	弓戸2	黄小菊	7月4日	80.3cm	56.4g	草丈が伸びない
7	秀ありな	赤小菊	8月9日	121.4cm	51.1g	新たな品種として 導入を検証
8	ひとみ	赤小菊	7月28日	146.0cm	33.9g	新たな品種として 導入を検証
9	紅やっこ	赤小菊	7月9日	96.6cm	52.8g	赤小菊の主力品種 電照抑制効果を再検証
10	弓戸3	赤小菊	7月30日	133.4cm	64.5g	頂花喪失が多い

平成29年度  
国産花きイノベーション推進事業  
実績報告書

(フラワーコンテスト・花文化展示会・シンポジウム)

長崎県国産花き振興地域協議会

## ◎ 「重陽の節句」に伴う県産菊のPR活動

1.趣旨 長崎の秋の大祭である「長崎くんち」と関連の深い「重陽の節句」の紹介と県産菊の消費拡大を目的に、平成29年長崎くんちの踊町である八坂町と連携したPR活動を実施する。

2.内容 県産菊を活用した花オブジェの展示を行った。

①日時 平成29年10月3日(火) 午後5時～

②場所 八坂町庭見世 傘鉾たれ展示会場

③講師 長崎花浪漫 主宰 伊達木百合子先生



## ◎シンポジウム:『花き栽培における統合環境制御技術の試験研究について』と『花育のススメ』の講演会

- 1.趣旨 近年花き産業は、消費の低迷や農業資材の高止まり等により厳しい状況が続いているが、本県では現在農業者の規模拡大やコスト縮減、花きの消費拡大に積極的に取り組んでおり、花き産出額も増加傾向にある。
- このような中、長崎県国産花き振興地域協議会では、県内花き産業の更なる発展を目的に新たな生産技術の習得と花きの消費拡大対策の研修を開催する。

### 2.内容

①日時 平成30年2月9日(金) 午後3時半～午後6時

②場所 ルークプラザホテル(長崎市江の浦17-15)

#### ③内容

##### ○講演会の開催

1)『花き栽培における統合環境制御技術の試験研究について』

愛知県農業総合試験場 園芸研究部 花き研究室

主任研究員 奥村 義秀 氏

2)『花育のススメ』

株式会社 第一花き

代表取締役社長 松本 頼明 氏

総務部広報花育課長 松永 仁美 氏

④来場者数

85人



## ◎ 生け花文化展示

1.趣旨 長崎県の花き産業振興のため、花き装飾技術の向上ならびに生産流通の連携強化を図るとともに、長崎県内産花きのPR強化及び消費の拡大を行う。長崎県民の皆様に、「花のある生活」の普及、定着化を図る。

2.内容 30点の生け花の展示を行った。  
(草月流、小原流、池坊、未生流と嵯峨御流、龍生派と文人流)

①日時 平成30年2月9日(金) 正午～午後4時  
平成30年2月10日(土) 午前10時～午後3時

②場所 ベルナード観光通り

③来場者数 1日目 3,389人  
(イベント全体) 2日目 2,158人

④花の消費意欲増加の割合(来場者アンケート結果) 回答者数241人

・生け花には興味はありますか？

ある 228人 ない 6人 今回、生け花を見て興味を持った 7人

・生け花を習ったことはありますか？

習ったことはある 171人 習ったことはない 61人 未回答 9人

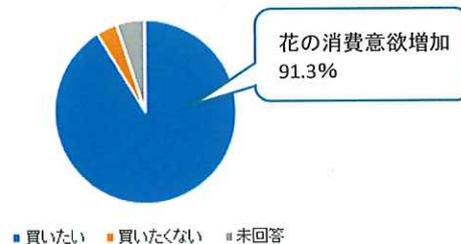
・生け花をみて「生け花に限らず、花を買いいたい」(購入したい)と思いませんか？

買いたい 220人 買いたくない 9人

未回答 12人

花の消費意欲増加の割合

220人 / 241人 = 91.3%



ベルナード観光通りにて 生け花展示

## ◎ 生け花文化展示

- 1.趣旨 長崎県の花き産業振興のため、花き装飾技術の向上ならびに生産流通の連携強化を図るとともに、長崎県内産花きのPR強化及び消費の拡大を行う。長崎県民の皆様、「花のある生活」の普及、定着化を図る。
- 2.内容 一般財団法人 いけばな小原流 小原流長崎支部 支部長 高崎 柚蓉先生による生け花デモンストレーションを行った。
- ①日時 平成30年2月10日(土)午前11時～正午
- ②場所 ベルナード観光通り
- ③デモ製作点数 3点



ベルナード観光通りにて 高崎先生による生け花デモンストレーション

## ◎ フラワーコンテスト:フラワーバレンタインイベント

- 1.趣旨 バレンタインデー(2月14日)に男性から女性へ花を贈る文化を社会に浸透させる為の業界統一キャンペーンである「フラワーバレンタイン」を前に、県産花きのPRと新たな需要創出による販売促進を図る。
- 2.内容 主に長崎県産花きを用いたフラワーバレンタインアレンジメントコンテスト及びアレンジの展示を行った。

①日時 平成30年2月9日(金) 午前10時～午後4時  
平成30年2月10日(土) 午前10時～午後2時

②場所 ベルナード観光通り

③内容

○ アレンジメント審査

平成30年2月9日(金) 午前10時～午後4時

<審査結果>

高校生

1位 山本 蘭(大村城南)  
2位 田嶋 春美(大村城南)  
3位 谷村 優斗(大村城南)

一般

1位 森 健二郎(大村)  
2位 末永 かおり(長与)  
3位 柴原 元雄(長崎)

○ 表彰式

平成30年2月10日(土) 午後1時～午後2時

○ アレンジメント展示

出品数 高校生 12点 一般 31点

④来場者数 1日目 3,389人  
(イベント全体) 2日目 2,158人

高校生作品



1位

2位

3位

一般作品



1位

2位

3位